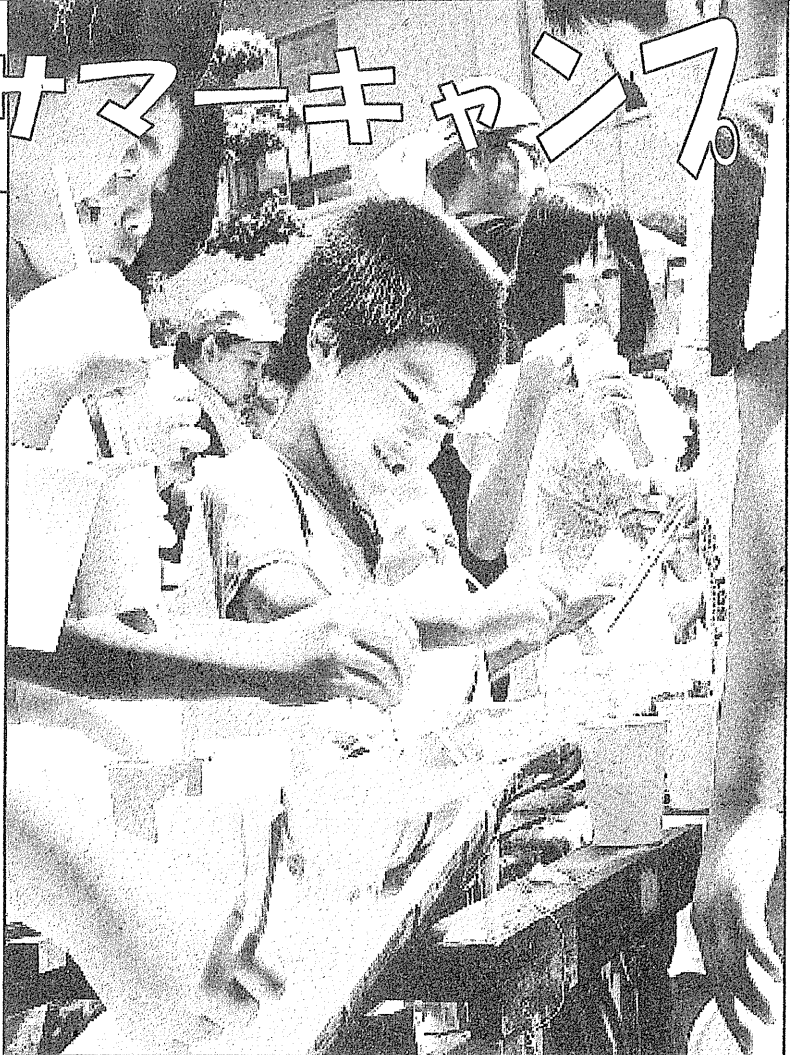


秋月親子サマーキャンプ

去る8月23日(土)・24日(日)、秋月小学校で親子サマーキャンプが実施されました。主催は「親風(しんぷう)の会」。いわゆる秋月小の「おやじの会」で、今年8年目になるそうです。

今回の参加者は親子一緒に108名。今年度新しく取り入れられたメニューは、「読み聞かせボランティア」の方々による「ブラックシアター」と「紙芝居」でした。とりわけ、昭和20年7月26日の徳山大空襲を再現した「溶けたビー玉」という戦争時の紙芝居は、事実に基づいた話だけに、子ども達は真剣に見入っていました。「平和学習に役立った」と河名校長先生も喜んでおられました。

夜の学校探検「きもだめし」や翌日のペットボトルロケット工作・ソーメン流し等、子ども達の喜々とした笑顔がまぶしい位でした。秋月地区にもよい伝統が続いているなとみなさんの努力に頭が下がる思いでした。役員の皆さん、暑い中、本当にお疲れ様でした。



昼食はソーメン流し・おなか一杯食べました。

竹割りを始めソーメン流しの台づくりも手馴れたもので、おとうさん達の協力体制は抜群でした。



ペットボトルのロケット発射!



すご〜い! どこまで飛んだかなあー

夏休み子ども教室 終了!



7/22 手話教室



7/23 読み聞かせ教室



7/25 洋裁教室



7/30 三味線教室



8/3 少林寺教室



8/5 絵手紙教室



8/6 料理教室

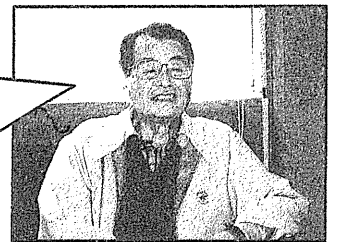


8/7 大正琴教室

どの講座も真剣に話を聞き、難しい部分も一生懸命取り組んでいました。よい体験でした。

秋月の音(5回シリーズ)・・・質問② (なぜ「秋月」と名づけられたのですか?)

秋月の地名は、徳山18景の名勝から取り入れたと言われています。徳山3代藩主「毛利元春公」は明敏で好学心に富み、「松屋の亭」(現在の文化会館の所)を設け、そこから見える「松屋18景」を選んだそうです。「秋月」はその中の1つで、「大河内」の山を背景に出た月の位置が「秋の月見に大変よい光景」と選定し、大河内一体を「秋月」と名づけ、その地名が生まれたと伝えられています。



秋月公民館 初代館長
村上孝式(たけな)さんに聞きました

講座紹介(踊同好会)

- ① 講座生 現在 5 名
- ② 開催日 月2回(第1・3 水曜日) 9:30~11:30
- ③ 内容 ボランティア活動のための踊りの練習を歌謡曲に合わせ、笑いの中で、全員楽しく踊っています。
- ④ 感想 体全体を動かすので、リハビリにとってもいいですよ。歌謡曲によって踊るので、楽しい上にボケ防止にもなります。若い方(20代の方)もおられます。どうぞ入会をお待ちしております。



現在、秋月地区敬老会での発表に向けて一生懸命練習しておられます。

講座生募集!

- ① フランス刺しゅう
月2回(第1・3金曜)
9時半 ~ 11時半
 - ② パッチワーク
月2回(第2・4水曜)
9時半 ~ 11時半
 - ③ 読書会
月1回(第2 金曜)
10時 ~ 12時
 - ④ 健康体操 A
月3回(第1・2・3月曜)
10時 ~ 12時
- 和気あいあいの講座ばかり。
いつでもご応募を受付けます。どうぞお入りください。